

# 東京外かく環状道路（関越～東名） 環境モニタリング調査（大気質・粉じん等）の結果について（お知らせ）

中央 JCT・東八道路 IC（仮称）周辺 大気質・粉じん等調査

平成 30 年 6 月～平成 30 年 8 月に実施した大気質調査の結果についてお知らせします。

## ◆調査期間

夏季

大気質 : 平成 30 年 6 月 11 日 (月) ～6 月 17 日 (日) (7 日間)

平成 30 年 6 月 12 日 (火) ～6 月 18 日 (月) (7 日間)

平成 30 年 6 月 13 日 (水) ～6 月 19 日 (火) (7 日間)

平成 30 年 6 月 14 日 (木) ～6 月 20 日 (水) (7 日間)

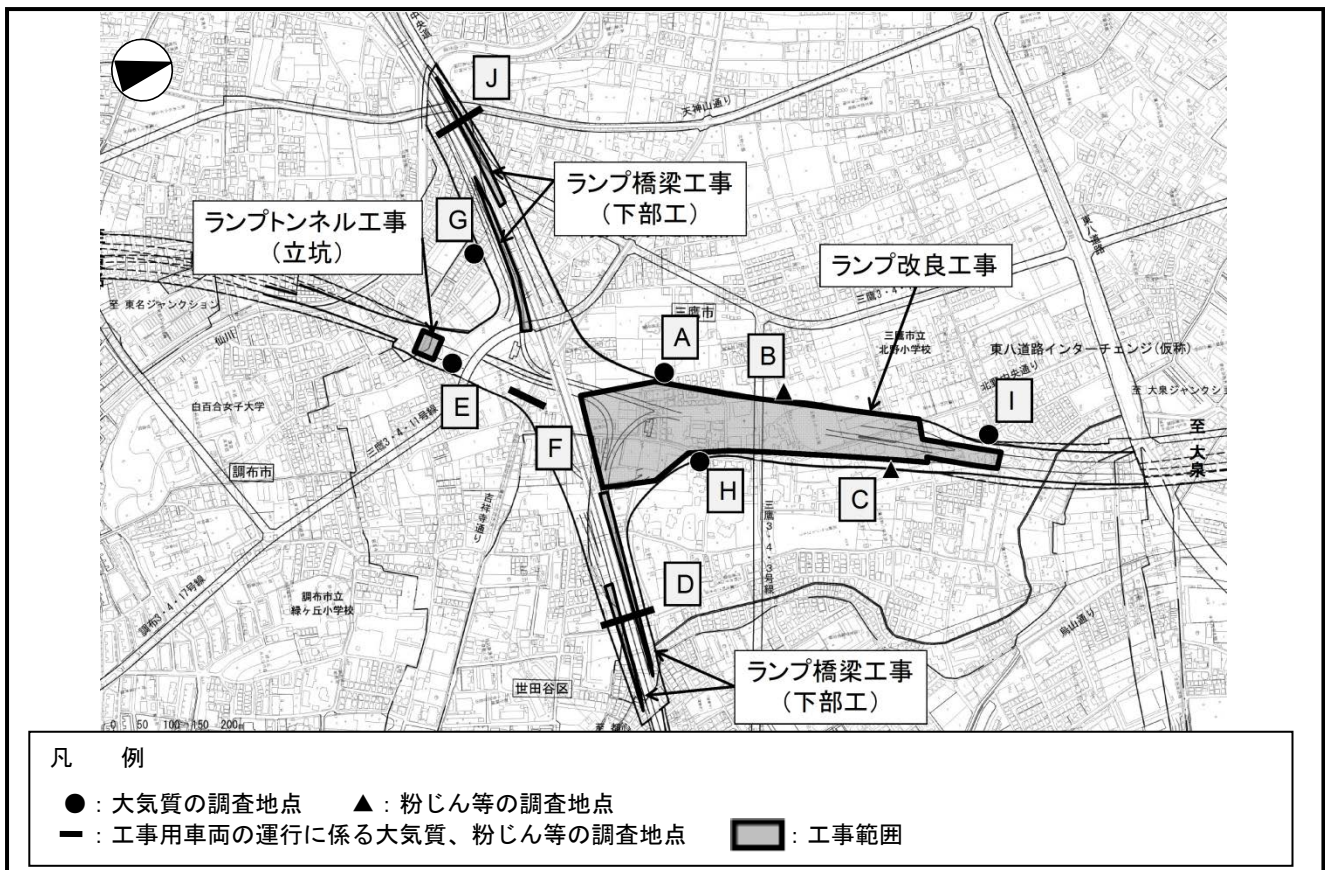
平成 30 年 6 月 19 日 (火) ～6 月 25 日 (月) (7 日間)

平成 30 年 7 月 23 日 (月) ～7 月 29 日 (日) (7 日間)

粉じん等 : 平成 30 年 6 月 5 日 (火) ～7 月 5 日 (木) (1 ヶ月間)

平成 30 年 6 月 12 日 (火) ～7 月 12 日 (木) (1 ヶ月間)

## ◆調査位置図



## ◆問い合わせ

担当窓口 : 国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 計画課

電話番号 : 0120-34-1491 (外環専用フリーダイヤル 平日 9:15～18:00)

◆調査結果

○建設機械の稼働に係る大気質【二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- ・二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- ・浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査 時期	調査日	A			調査日	E		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )			NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月19日	0.015	0.017	0.031	7月23日	0.013	0.026	0.043
	6月20日	0.017	0.014	0.026	7月24日	0.014	0.038	0.050
	6月21日	0.019	0.017	0.027	7月25日	0.013	0.030	0.052
	6月22日	0.020	0.029	0.050	7月26日	0.012	0.018	0.026
	6月23日	0.019	0.034	0.064	7月27日	0.013	0.018	0.026
	6月24日	0.009	0.021	0.034	7月28日	0.009	0.023	0.042
	6月25日	0.019	0.029	0.051	7月29日	0.005	0.023	0.033
	期間内平均	0.017	0.023	—	期間内平均	0.011	0.025	—

調査 時期	調査日	G			調査日	H		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )			NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月12日	0.020	0.023	0.044	6月19日	0.014	0.015	0.024
	6月13日	0.015	0.019	0.032	6月20日	0.017	0.013	0.025
	6月14日	0.015	0.017	0.032	6月21日	0.019	0.016	0.030
	6月15日	0.019	0.014	0.023	6月22日	0.018	0.027	0.039
	6月16日	0.012	0.010	0.017	6月23日	0.021	0.036	0.073
	6月17日	0.009	0.013	0.024	6月24日	0.011	0.022	0.053
	6月18日	0.022	0.022	0.031	6月25日	0.020	0.026	0.046
	期間内平均	0.016	0.017	—	期間内平均	0.017	0.022	—

調査 時期	調査日	I		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月11日	0.006	0.006	0.009
	6月12日	0.014	0.022	0.040
	6月13日	0.012	0.018	0.031
	6月14日	0.012	0.016	0.026
	6月15日	0.010	0.011	0.021
	6月16日	0.005	0.009	0.017
	6月17日	0.008	0.015	0.028
	期間内平均	0.009	0.014	—

○工事用車両の運行に係る大気質【二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、浮遊粒子状物質（SPM）】

- 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）については、いずれも環境基準を下回る結果となっています。
- 浮遊粒子状物質（SPM）については、1日平均値、1時間値ともにいずれも環境基準を下回る結果となっています。

調査 時期	調査日	D			調査日	F		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )			NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月14日	0.014	0.020	0.032	6月13日	0.024	0.023	0.034
	6月15日	0.016	0.014	0.024	6月14日	0.020	0.019	0.033
	6月16日	0.009	0.010	0.018	6月15日	0.025	0.019	0.037
	6月17日	0.010	0.016	0.028	6月16日	0.016	0.010	0.020
	6月18日	0.023	0.024	0.037	6月17日	0.010	0.013	0.024
	6月19日	0.016	0.019	0.028	6月18日	0.028	0.023	0.039
	6月20日	0.018	0.018	0.029	6月19日	0.019	0.017	0.025
	期間内平均	0.015	0.018	—	期間内平均	0.020	0.018	—

調査 時期	調査日	J		
		NO <sub>2</sub> (ppm)	SPM (mg/m <sup>3</sup> )	
		1日 平均値	1日 平均値	1時間値 の最大値
夏季	6月13日	0.014	0.020	0.030
	6月14日	0.013	0.019	0.032
	6月15日	0.017	0.015	0.026
	6月16日	0.011	0.012	0.018
	6月17日	0.009	0.018	0.031
	6月18日	0.021	0.024	0.031
	6月19日	0.012	0.019	0.027
	期間内平均	0.014	0.018	—

**参 考**

◆環境基準

二酸化窒素：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

浮遊粒子状物質：1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること。

※環境基準との評価は、『道路環境影響評価の技術手法』に基づいて、1年間の測定を通じて得られた1日平均値のうち、低い方から数えて98%目（若しくは高い方から数えて2%目）にあたる値を環境基準と比較することにより行います。

○建設機械の稼働に係る粉じん等

- ・粉じん等（降下ばいじん量）については、いずれも参考値を下回る結果となっています。

	調査時期	B	C
降下ばいじん量 (t/km <sup>2</sup> /月)	夏季	5.0	2.6

○工事用車両の運行に係る粉じん等

- ・粉じん等（降下ばいじん量）については、いずれも参考値を下回る結果となっています。

	調査時期	D	F	J
降下ばいじん量 (t/km <sup>2</sup> /月)	夏季	2.6	10	3.2

**参考**

◆環境基準

降下ばいじん量に環境基準はありません。

◆参考値

降下ばいじん量：20t/km<sup>2</sup>/月以下

※環境を保全する上での降下ばいじん量は、スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全が必要な地域の指標\*を参考とした20t/km<sup>2</sup>/月が目安と考えられます。（「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」より引用）

なお、計測されるばいじん量は建設機械以外から発生するものも含まれるため、環境影響評価では、上記基準を達成するよう、建設機械の稼働の寄与分を10t/km<sup>2</sup>/月以下とするよう評価を行っています。

\*「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律の施行について」（平成2年7月3日、環大自第84号）